



しばた議会だより



とったよ! 寒さなんかへっちら

(船迫地区子ども会育成会 かるた取り大会)

- 12月会議(定例)
 条例・補正予算(附帯決議)・契約案件..... 2～5
- 10月会議(臨時) 6
 補正予算・契約案件
- 11月会議(臨時) 6
 職員給与改正・補正予算・契約案件
- 本会議の出欠状況・議案などの審議結果 7
- 一般質問(16人)・その他の質問 8～16
- 常任委員会レポート 17
- 追跡あれはどうなった 18～19
- あなたの一言(岡部 おかべ 陽子ようこさん) 20

育て支援新制度

「子ども・子育て支援新制度」とは

平成 24 年 8 月に成立した「子ども・子育て支援法」、「認定こども園法の一部改正」、「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の子ども・子育て関連 3 法に基づく制度のことをいいます。

- 背景として
- 子育てへの不安感や負担感が高まっている。
 - 保育所などに入れない待機児童がいる。
 - 核家族化や、地域とのつながりの希薄化により、地域での子育て力が低下している。
- などの課題を解決するためにつくられた制度です。

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、柴田町では条例が制定され 4 月より施行されます。

- ① 柴田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ② 柴田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ③ 柴田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

12 月 8 日から 11 日までの日程で 12 月会議が開催されました。
 今回の会議では、16 人の議員が一般質問を行いました。
 また 4 月から始まる「子ども・子育て支援新制度」に伴う条例の制定や、二本杉町営住宅建替事業「北船岡町営住宅 3 号棟新築工事」の契約案件など、議案 15 件を審議し、原案のとおり可決しました。

二本杉町営住宅建替事業 「北船岡町営住宅 3 号棟」新築工事

26 年 11 月に実施設計が完了し、12 月 1 日付けで各事業者と工事請負仮契約を結びました。今後 28 年 3 月の完成を目指し工事が行われます。また、4 号棟（3 階建・29 戸）、5 号棟（3 階建・20 戸）の建設も計画されています。

建設費コストは

質疑 1・2 号棟の建設当時と比較し、資材費はどのくらい高騰したのか。

答弁 資材や人件費の値上げはあるが、建物の階数も違うので単純な比較はできない。極端に高騰しているわけではない。

住人同士が支えあえる コミュニティ作りを

質疑 住み替えをする方の中には高齢者もいると思うが、住人の年代を幅広くし、新しく入居する世帯のコミュニティが構築できるような対策は取っているか。

答弁 高齢者だけの入居ではなく、一人世帯や大家族世帯が暮らせるよう、1LDK から 3LDK を

優先的に 入居できる世帯は

質疑 入居者は決まっているのか。

答弁 今回は、建て替え事業に伴う二本杉町営住宅入居者の住み替えを最優先に考える。

工事期間の振動対策は

質疑 周辺には病院や住宅が密集しているが、振動や騒音への対策は。

答弁 低騒音型の機材で工事を進める。万が一、住民から振動や騒音への苦情があれば、速やかに対応する。

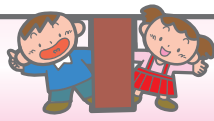


北船岡町営住宅 3 号棟完成イメージ図

〈概要〉

総事業費	14 億 6,210 万円 (26 年度契約時点)
建物構造	鉄筋コンクリート造 7 階建て
建築面積	1,058.50㎡
延床面積	5,029.06㎡
建設戸数	全 62 戸 1LDK : 14 戸・2LDK : 27 戸・3LDK : 21 戸

4月スタート



子ども・子

制定した条例では、地域の実情に応じ、実施主体である町が、幼稚園、保育所などの運営に関する基準を定めています。また、小規模保育、家庭的保育、事業内保育、放課後児童健全育成事業などの設備及び運営に関する基準も定めています。本町では、特に小規模保育施設と家庭的保育施設を認可し、これにより、待機児童解消を図ることに力を入れることとなります。

待機児童の解消へ

小規模保育施設は、定員6人から19人の施設で、家庭的保育施設の定員は、5人以下の施設です。

いずれも家庭的な雰囲気の中で、きめ細やかな保育が行われることとなります。

平成27年4月から、小規模保育施設が一方所開所される予定です。

なお、本町では、保育や教育の内容及び大きく変わるわけではありません。

定員オーバーの子どもへの対応は

質疑 保育所や幼稚園の定員オーバーで、入所・入園できない子どもへの対応は。

答弁 施設からの調整報告を受けながら、町も関与し最後まで対応する。

料金はどうなるのか

質疑 保育料は今までとおりだが、それ以外の料金も認めている。高く取るようなことはないか。

答弁 保育料は町が定める

。それ以外にも徴収することができ、バス料金、遠足の費用など、今まで行っている範囲内で認める。

バックアップ体制は

質疑 現在行っている保育ママがスムーズに国の家庭的保育制度に移行できるよう、町が事務手続きなどを支援すべきでは。

答弁 事務的な申請手続きは、全面的に町がバックアップしながら進めていく。



ハ〜イ こっち見て (船岡保育所)

公益的法人等へ町職員を派遣できるようになります

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例

中長期的に、公のサービスが外部委託に進んでいくことを視野に入れ、その移行期に職員を派遣し支援することを想定しています。そのために、職員の派遣先の範囲や、職員の身分の取り扱いなど必要な事項を定めるもので、27年1月より施行されました。

派遣のタイミングは

質疑 どのようなときに派遣するのか。

答弁 業務移転のため、支援が必要になったときに派遣する。

職員の派遣期間は

質疑 どのくらいの期間の派遣とするのか。

答弁 上位法で、3年を限度とするため、1年から最長3年の期間となる。

派遣職員の報酬は

質疑 派遣職員の報酬は、どちらが支払うのか。

答弁 派遣先をお願いしたいところだが、町で負担することになる。

派遣する職員は

質疑 派遣する職員には定年を迎え、再任用された職員も含まれるのか。

答弁 再任用の職員も含め、適任の職員を派遣する。

12 月 会 議

補 正

一般会計

道路維持管理費など

増額補正

8,090 万円



柴田さくらマラソン メイン会場（東船迫 白石川左岸河川敷）

さくらマラソン開催に
合わせ道路を修繕

質疑 マラソンコース予定地の改修とは。

答弁 出発、ゴール地点など合わせて4カ所、延べ350以上の修繕と改修を行う。

離農者に
協力金の支払い

質疑 農地中間管理機構集積協力金とは。

答弁 農地中間管理機構を通して農地を担い手に集積した場合に、離農者に支払われる農地転換協力金である。

12月会議の一般会計補正予算は、一般町道維持管理費など、8千90万円の増額となり、原案のとおり可決しました。

27年度も塩化カリを散布

質疑 放射性物質吸収抑制対策事業補助の水田への塩化カリ散布はいつまで行うのか。

答弁 27年度産米への対応は行うが、28年度産米への対応は未定である。

槻木五間堀川の浚渫

質疑 槻木五間堀川の浚渫作業の範囲は。

答弁 中瀬橋から上流の約350メートルを行う予定である。

船迫小と船岡中
体育館天井の改修

質疑 震災後3年も経つてから天井を改修するのはなぜか。

答弁 震災当時に落下した体育館のつり天井など、国から新たな設置基準が、25年8月に示された。今回は、これに合わせて改修を行うため、設計業務を委託する。

一般会計の補正による主な内容と予算額

船迫小学校・船岡中学校体育館 天井改修工事実施設計業務委託料	432 万円
一般町道維持管理費	1,909 万円
普通河川浚渫委託料（槻木五間堀川）	794 万円
給食センター一般管理事業費	235 万円

平成 26 年度補正予算（12 月会議）

会計区分		補正額	補正後の額
一般会計		8,090 万円	123 億 8,139 万円
特別会計	国民健康保険事業	2,065 万円	44 億 316 万円
	公共下水道事業	716 万円	25 億 9,886 万円
	介護保険	▲ 7,235 万円	25 億 3,336 万円
	後期高齢者医療保険	▲ 457 万円	3 億 5,090 万円



ことしも塩化カリが散布される水田

下水道料金 賦課漏れ

議会から附帯決議

全会一致で可決

平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算に対する附帯決議

平成26年8月22日に開催した議員全員協議会で、執行部から下水道使用料^{※1}賦課漏れの報告を受けました。このようなことが二度と起こらないよう、迅速かつ正確な事務の執行を徹底し、1日も早く町民の信頼を回復するため、町議会では、平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算に対する^{※2}附帯決議を提出し、全会一致で可決しました。

今回上程された、「議案第41号 平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算」については、下水道使用料賦課漏れに関連する予算措置の対応が取られている。

私たち議会は今回の賦課漏れについて、「歴代担当者個々のミスと捉えるのではなく、組織の運用の重大な欠陥として捉えるべきものである」と考える。

下水道使用料の賦課漏れの対象になった町民に対しては、今後の賦課方針や徴収方法について丁寧な説明対応を取ることが最も重要であるが、当該業務をはじめとした行政事務の遂行に当たり、今回の事案を教訓に現場組織の横断的な協力体制をもって迅速かつ正確な事務執行により、町民の信頼回復と再発防止に万全を期すよう強く求める。

以上、決議する。

平成26年12月11日

宮城県柴田町議会

下水道使用料の賦課漏れ再発防止対策

上下水道の使用開始届の受理

★下水道が使える区域については、給水の使用開始届と下水道の使用開始届を同時に提出された申請のみを受理する。

排水設備の無届工事の防止

★給水の竣工検査に、下水道班の職員も立ち会い、公共汚水桝への接続の有無を確認する。

チェック体制の構築

★給水装置工事申請書に下水道の有無を記入。排水設備の確認申請書との照合を実施する。さらに、料金システムへの入力時に水道班と下水道班による二重チェックを行う。

現地調査による状況の確認

★申請書の提出後、3カ月程度過ぎても竣工の届出のない家屋については、現地調査による状況の確認を実施する。



下水道工事現場

意見書

可決

★ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
(全会一致)

★労働の規制緩和を中止し、安定した雇用の実現を求める意見書
(全会一致)

★安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書
(全会一致)

※1 賦課 負担すべき分を割り当てて納めいただくこと。
※2 附帯決議 議案を可決する際に議会の意思を表明するものとして行う決議のこと。

10月会議

10月17日開催

平成26年度柴田町
一般会計補正予算

4,707万円追加

館山山頂に(仮称)里山ガーデンハウス建設へ!



(仮称) 里山ガーデンハウス完成イメージ図

(仮称) 里山ガーデンハウス建設の概要

構造	木造平屋建て	
延べ床面積	55.06㎡	
施設内容	情報交流スペース・倉庫	
	トイレ	男 小×2・大×1 女 大×2 多目的 大×1・おむつ交換台・ベビーチェア
予算額	総額	3,808万円
	補助金	1,384万円 (森林・林業再生基盤づくり交付金) 2,100万円 (がんばる地域交付金)
	一般財源	324万円

10月会議では、(仮称)里山ガーデンハウス新築工事などにより総額4千707万円の増額となった一般会計補正予算、専決処分1件、契約案件2件について審議し、原案のとおり可決しました。

外構工事の内容は

質疑 外構工事の資料がないが、形状変更はあるのか。

答弁 (仮称)里山ガーデンハウスに行く通路や盛り土を考えている。盛り土は現地の高低差をなくすもので、60%程度を考えている。形状変更はならない。

管理体制は

質疑 今後の(仮称)里山ガーデンハウスの維持

管理はどうするのか。

答弁 将来の維持管理を見据え、指定管理という形で朝夕の鍵の開閉、トイレの清掃などを観光物産協会にお願いしたい。管理費は、電気代、水道代、くみ取り代を含めて年間20万円とみている。

討議

議案第27号
平成26年度
一般会計補正予算

反対討論

秋本好則議員

ウォーキングの途中に雨風を防げる休憩所は必要だが、オープンデッキとトイレで十分と考える。館山は逃げないのだから、町民の意向を設計に反映させることが今は必要である。また、坪当たり200万円の工事費は、理解できない。

賛成討論

水戸義裕議員

討論なので、議案全てに反対なのか、中味の1つに反対なのか、はっきりさせてほしい。この議案は、船岡城址公園山頂へのトイレ整備の要望を解決するものであり、利用者には歓迎される。他に、子育て支援など必要な予算も組まれており、賛成する。

11月会議

11月26日開催

11月会議は、専決処分4件、柴田町職員給与に関する条例の改正、契約案件2件、補正予算3件について審議し、原案のとおり可決しました。
契約案件は、下水道災害復旧工事、町道富沢16号線道路改良工事でした。

人事院勧告に伴い、職員給与を改正

8月の人事院勧告は、26年4月から適用となる通常勧告と、27年4月から適用となる給与制度の総合的見直しの2つがあった。

今回の改正は、前者のもので、特に若年層の給与を引き上げるものとなる。

所ある。

町道富沢16号線道路改良工事

質疑 先行して盛り土した箇所がゆがんでいるように感じられるが、周辺田畑への影響は。
答弁 沈下は予定どおりで、周辺田畑への影響は今のところ確認されていない。

稲わら処理業務の内容は

質疑 一般会計補正予算に計上した稲わら処理業務委託の内容は。

答弁 台風19号の大雨により排水路などに漂着した稲わらを除去するもので、町内に11カ



工事が進む町道富沢16号線

本会議の出欠状況・議案などの審議結果

●本会議の出欠状況

区分	主な内容	月日	出席者数	出欠状況																
				平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	星吉郎
(平成26年度)10月会議	本会議	請負契約、補正予算	10.17	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成26年度)11月会議	本会議	条例改正、請負契約、補正予算	11.26	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成26年度)12月会議	本会議	町政報告、一般質問	12.8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例、補正予算、請負契約等	12.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表しています。

●議案などの審議結果

○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

区分	件名	賛成	反対	議決結果	表決状況																		
					平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	星吉郎	加藤克明	
(平成26年度)10月会議	平成26年度柴田町一般会計補正予算	12	5	原案可決	○	○	否	否	否	○	○	○	○	○	○	○	否	○	否	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
 ※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表します。

○全員が賛成したもの

区分	件名	区分	件名
(平成26年度)10月会議	平成25年度榎木小学校プール改築工事(建築工事)(繰越明許)請負契約	(平成26年度)12月会議	平成26年度柴田町一般会計補正予算
	平成26年度町道榎木169号線外道路補修その2工事請負契約		平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	平成26年度柴田町一般会計補正予算		平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
(平成26年度)11月会議	柴田町職員の給与に関する条例の改正		議案第41号 平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算に対する附帯決議
	平成25年度下水道災害復旧工事(11-140外)(繰越明許)請負契約		平成26年度柴田町介護保険特別会計補正予算
	平成26年度町道富沢16号線道路改良工事請負契約		平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
	平成26年度柴田町一般会計補正予算		平成26年度柴田町水道事業会計補正予算
	平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算		平成26年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅3号棟新築工事(建築工事)(債務負担行為)請負契約
	平成26年度柴田町水道事業会計補正予算		平成26年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅3号棟新築工事(機械設備工事)(債務負担行為)請負契約
(平成26年度)12月会議	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例		平成26年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅3号棟新築工事(電気設備工事)(債務負担行為)請負契約
	柴田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		平成25年度(仮称)さくら連絡橋新設工事(債務負担行為)委託変更契約
	柴田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例		ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
	柴田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		労働の規制緩和を中止し、安定した雇用の実現を求める意見書
	柴田町国民健康保険条例の改正		



12月会議

一般質問



平間奈緒美 議員

Q なぜフットパスなのか

A 人口減少でも将来発展していくための施策である



里山ハイキングコースを楽しむ（富沢地区）

第5次柴田町総合計画後期基本計画中間素案が提案され、重点プロジェクト、「※フットパスによる元気なまちづくり」が位置づけられた。

問 フットパス活用プロジェクトの有効性は、この重点プロジェクトを検討していく上で必要なことは、人口減少でも将来継続的に発展していくための戦略づくりである。地域に昔からあるありのままの小道から地域の人を巻き込んで楽しむというフットパスの考え方を取り入れた。

このプロジェクトは地域の魅力に気付き、新たな観光スタイルの提唱、健康づくりの面でも有効と考える。

問 観光まちづくりの人材育成は、観光まちづくりを推進する組織を立ち上げる。コーディネートを活用し、町全体で観光力を高めるための人材育成に取り組む。

問 重点プロジェクトをどう進めるのか。重点プロジェクトには3つのステップがある。最初にルート整備

次に交流拠点や地域ビジネス、最後に観光イベントで、4年間で進める。

問 コースの開発をどう考えているのか。榎木駅と船岡駅を起点にルート開発し、地域ビジネス、観光イベントにつなげていきたい。

問 観光面での広域連携は、広域連携の第一段階として、情報の共有化と新たな観光地めぐりなどを検討していきたい。

※フットパス 地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと。

前から私が強く望んでいた新栄通線への信号機設置が、8月に、地元選出県議員からの連絡でわかった。また、まちづくり政策課長の話では、みやぎ環境税の利用により、もう1つつくれるかもしれないとのことであった。そこで何う。

問 町内で他に信号機の設置が強く要望されている場所は。柴田小学校の南側の県道交差点、船岡中学校の南側の町道船岡新

栄55号線交差点である。

問 議会懇談会（榎木会場）で山崎製パン周辺の方から、通学路にもなっている所で車の通行量も多く、結構スピードも出しているので規制をしてほしいという要望があったが、町の対応は。今でも一時停止や30

町長 河原警察署に対し、取り締まり強化を要請するほか、有効な対策はないかを、引き続き警察署と検討する。

問 前に並松の町道船岡32号線が狭く危険と質問したが、その後の町の対応はいかに。

町長 避難所や看板、防犯灯の設置について区長と何度か話し合った。看板、防犯灯の設置は、地域計画に基づき、町からの支援をベースに、設置することを含めて、方策についての話し合いを進めている。

Q 町内の交通安全対策について

A 関係機関と協議を密にして進めている



舟山 彰 議員



信号機設置が待たれる町道船岡新栄55号線交差点



高藤義勝 議員

Q まち・ひと・しごと
創生本部の積極活用を

A 「槻木まちづくり研究会」に
提案の一部を導入したい



地元の企業が集まる船岡工業団地

問 「このまま無策では日本の人口は激減する」という日本創成会議の発表を受けて、政府はまち・ひと・しごと創生本部を設置し、50年後の人口を1億人とする目標を立てた。また、地方の雇用創出を最重要課題に挙げている。しかし、主役になるべき地方の自覚も一層問われると指摘している。若者の1ターン促進を図り、30代前半の雇用を安定させることが必須とされている。

問 現在、槻木で進めているまちづくり研究は、
*1「地域おこし協力隊」を導入すべきで
*2 シティマネージャー政府から派遣され、首長を補佐する専門職。

直しては。

商工観光課長 平成19年から始めているが、緩和すれば奨励金・助成金が町の負担増になる。状況を見極めていく。

問 若者定住化対策として、住宅ローン優遇制度を検討しては。

まちづくり政策課長 そういった取り組みは、銀行独自でも考えており、今後双方で検討していく。

会に、その仕組みを27年度から導入したい。

町長 国から照会があり精査したが、特任の副町長を発令し、2人副町長制となれば、給料などが負担増となり、また、指揮系統が不明確になるため、見送ることにした。

問 *2シティマネージャーの導入は、
*1 地域おこし協力隊
地域社会維持に、新たな担い手となる地域外の人。

現在、槻木で進めているまちづくり研究は、
*1「地域おこし協力隊」を導入すべきで
*2 シティマネージャー政府から派遣され、首長を補佐する専門職。

平成26年8月の議員全員協議会で、下水道使用料賦課漏れ金額が2千209万2千円（推定）と報告があり、11月の議員全員協議会で、1千96万5千円に確定したとのことである。



高橋たい子 議員

Q 下水道賦課漏れ処理の
進捗状況は

A 12月2日現在、約206万円の
徴収金額となっている



チェック体制の強化を図る上下水道課

問 8月の議員全員協議会以降の徴収金額は、12月2日現在、206万671円となっている。

問 8月の議員全員協議会の際に、正確な数字をもって報告すべきでなかったのか。

町長 現時点では考えていない。

問 賦課漏れ部分について補正予算を組むことになるが、万が一徴収不能になった場合のことは考えているか。

町長 多くの方々は、下水道使用料の負担公平性の観点から、分納や、納付協力依頼に対し理解を得て、使用料を納付いただいている。現在、納付交渉中の方々に対しても、丁寧な説明を心がけていく。

問 賦課漏れ対象者の反応は。
町長 その通りである。

問 賦課漏れ対象者の反応は。
町長 その通りである。



吉田和夫 議員

Q 特定健診にオプションで
リスク検査(ピロリ菌)の
導入を

A 先進自治体の状況などを調査し、
リスク検査の導入を検討する



受診率アップが望まれる特定健診

問 しばた健康まつりで
リスク検査が実施さ
れたが、町民の反応は

町長 40歳から69歳までの
81人が検査を受け、

そのうち36人がピロリ菌
陽性という結果であった。
すぐに精密検査や治療に
結びつく方はいなかった
が、ピロリ菌陽性者36人
のうち、2人がピロリ菌
除菌の希望があり、対応
した。

問 ※コール・リコール
事業で、特定健診の
受診率はどれくらいアッ

プしたのか。

町長 受診率は35・3割の
見込みであり、受診
率は横ばいになると考え
ている。今後、先進自治

体の取り組み事例を参考
にしながら、未受診者へ
の効果的なコール・リ
コールなどを行い、受診
率のアップを図っていく。
問 リスク検査を加える
ことにより、少ない
予算で最大の効果を上げ
ることができるのでは。

町長 リスク検査を実施す
るためには、特に医

療機関や検診委託機関の
理解と協力が不可欠であ
る。実施に当たっては、
検診の精度や事後管理、
除菌治療に対する医療機
関の受け入れなどの体制
整備に十分な協議が必要
で、今後、先進自治体の
実施状況などを調査・研
究し、リスク検査の導入
を検討する。

※コール・リコール 受診
勧奨(コール)を行い、未
受診者に手紙や電話で再
受診勧奨(リコール)する
事業のこと。

安全安心な水を町民に
供給し、町民の命を守る
ことは最大の責務と考え
次の質問を行う。

問 公共水道を使用し
ていない世帯はあるの
か。

町長 井戸水を使用してい
る世帯は4世帯14人
水道管は整備されている
が未使用の世帯は10世帯
31人である。

問 今の技術で普及率100
％は無理なのか。
上下水道課長
標高の問題、本管か
らの距離と少使用量

からくる水質劣化の問題
などで、管路整備の困難
な地区がある。水道管が
布設されている場合は、
給水管からの引き込み工
事には個人の負担が発生
するが、給水は可能であ
る。

問 井戸水を利用して
いる世帯で、水の濁り
や糞などが発生した場
合の対応は。

上下水道課長
井戸水は保健所の水
質検査を受け、自己
責任の範囲で使用されて
いる。濁りや水の涸れが

発生した場合、相談され
れば緊急的に飲料水を提
供し、その後の相談や指
導も行う。

問 災害時の緊急給水対
応は。

町長 給水車用の給水施設
は、山田沢配水池2
カ所のほか、新たに船迫
中学校校庭1カ所を増設
した。応急給水箇所が6
カ所から10カ所になり、
また、各行政区に対し300
リットのタンク1基を配備し、
きめ細かな給水支援を行
う。

Q 水道の普及状況と
災害対策は

A 普及率99.88%、災害時の
給水箇所も増設して対応



平間幸弘 議員



災害時にも役立つ井戸



佐々木守 議員

Q 各地域包括支援センターの強化を

A 新しい地域包括支援センターを立ち上げる



地域包括ネットワーク連絡会での研修会

問 県では、地域包括ケアを全县に拡大する推進役となる協議会を設立するとしているが。

町長 協議会の名称は「宮城県地域包括ケア推進協議会」である。要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らしができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体として提供できる体制を構築するためである。県内の関係機関・団体などによる構成協議会を、平成27年4

月設立の予定である。

問 本町では、第6期の介護保険事業計画が作成されているが、進捗状況は。

福祉課長 第6期計画は、運営審議会委員、地域住民、事業所の意見を参考に、現在策定中である。

問 第6期計画の作成に当たり、基本的目標の「地域で支える介護」をどう検証したのか。

福祉課長 現在、地域住民が自宅にいる高齢者の見守りをしているが、6期

では、さらに医療・介護を連携させ、介護の充実を図ることとなる。

問 各地域包括支援センターの強化を。

福祉課長 現在、柴田・槻木の2つの包括支援センターがあり、柴田のセンターは6人で対応している。

人材体制の強化・充実を図り、また、新たな包括支援センターを立ち上げたいと考えている。

問 平成20年度に、ふるさと納税がスタートした。農業や商業の活性化のため、今後、ふるさと納税をどのように活用するの。

町長 柴田町は、昨年まで毎年10件、20万円程度の寄附をいただいている。制度をうまく活用できていないので、民間ポータルサイトを活用し、事務の簡素化を図るとともに、情報発信や商品開発に民間のノウハウを提供してもらおう。今後、ふ

るさと納税の事務は民間委託を検討している。

問 ふるさと納税を民間委託と検討しているが、内容は。

まちづくり政策課長 民間の力、民間の力を持つているシステムを使い、事務から受け付け、お金の授受、領収書の発行、記念品の送付、商品開発、情報発信を含めた全てを委託していく。

お菓子の詰め合わせを送る。寄附が増えれば、返礼品の数、金額も増え、商業、農業の活性化とともに町のPRにもつながるが、今後の取り組みは、**まちづくり政策課長** まさに、今考えているのはその手法である。具体的には民間の力を借りて、商品開発、カタログ1万部の制作を考えている。27年度、そういうシステムをつくり、現状より規模を拡大させたい。

Q ふるさと納税を積極的に活用し経済の活性化を

A 平成27年度、民間委託により規模を拡大させたい



桜場政行 議員



拡大が望まれるふるさと納税返礼品の一例



秋本好則 議員

Q 再び商店街の振興策を問う

A しばた商工振興ビジョンの内容を、総合計画で行う



売り出しを始めている商店会

しばた商工振興ビジョンは、今年度が最終年になると思う。

問 しばた商工振興ビジョンの現状は。

町長 商工振興ビジョンは状況が変わったため、第5次柴田町総合計画に組み換えを行った。

問 総合計画に組み換えたことを公表したか。

町長 「やめます」という明確な公表はしていませんが、23年度の新政策に盛り込んでるので、町民への周知はできている

と思っている。

問 商工振興ビジョンにあったビジネスサポートセンターが、後期基本計画に入っていない。なぜか。

商工課長 県や商工会連合会内にあるので、今回の後期基本計画からは外した。

問 中小企業振興資金制度の充実、中小企業振興条例の整備、受注機

会の拡大とあるが、以前に質問した運転資金、設備資金の増額、利率の引

き下げと同じ内容か。

町長 町の振興資金そのものである。

問 自助努力をしない商店は無駄と突き放さず、まちづくり推進センターの槻木駅前移転、耐震改修やリフォームの支援、地域コミュニティ活動にポイント制をつくるなどの支援はできないか。

まちづくり政策課長 議員からの提案のよ

うな形でアクションを起こしている。外部の人たちの協力も得て進める。

Q 地方創生をどう捉え、どのように対応するのか



安部俊三 議員

A 国の総合戦略の提示を受け、地方版総合戦略を策定する



健康づくりは元気なまちづくりの基本 (介護予防推進大会)

問 町では地方創生をどう捉え、どのよう

町長 現在、町の後期基本計画を策定中である

が、その基本目標は、内外から多くの人を呼び込み、にぎわいを呼び込む元気なまちづくりである。国の地方創生の目標と町が目指す人口減少の克服と安全・安心な地域の実現は共通している。

国の総合戦略の提示を受け、本町の地方版総合戦略を策定する。

問 地方版総合戦略を策定する場合、特化した具体的な施策を持ち合わせているのか。

町長 町の地方版総合戦略を、平成28年3月までに策定する。その場合、具体的な重点施策として、町の後期基本計画で示している、フットパスによる元気なまちづくりの推進を考えている。

問 柴田町のキャッチフレーズを「花のまち柴田」としているが、町の社会資源やスポーツ振

興の動きなどを勘案し、「花のまち・スポーツのまち柴田」に変更する考えはないか。

町長 「花のまち柴田」が知られるようになってきた。「花のまち柴田」は健康づくり・スポーツとも深い関わりがある。平成27年度から、フットパスによる元気なまちづくりとした理由も、そこにある。当面は、「花のまち柴田」でいきたい。

一般質問



水戸義裕 議員

Q 登下校時のヘルメット着用の導入は

A 全員に対し、ヘルメット着用は未検討



拡幅された剣崎1号橋

問 ことし10月に就任された船迫教育長に、今後の教育行政にかける抱負や展望について問う。前教育長の方向性や指針をどのように継承するか。

教育長 全面的に継承したい。理由は、町民の姿や子どもたちの真剣に学習に取り組む姿を見て、「豊かな人間性を持ち、社会連帯意識の高い、健康で良識ある町民の育成」の実現に向かって、着実な歩みを感じたからである。

問 どのような新しい取り組みを行うのか。

教育長 現時点で次年度の方向性としては、自主・協働・創造の3つを理念の柱とし、「人と人がかわり合い、確かな絆をつなぐ教育」を推進していきたい。

問 安全のため、歩いている登下校時に、ヘルメット着用を考えないか。

教育総務課長 事故防止対策で必要かとも思うが、現段階では検討していない。

問 12B区の子どもたちは、旧4号線と下名

生地内の路線の2路線で通学している。以前、拡幅された中名生の農道を通学路にという要望があったが、現在、どう考えているのか。

都市建設課長 通学路は、子どもの命・将来を守るものである。ほかの通学路でも要望がある。橋は直したが、町道中名生2号線もあり、その道路利用が可能か調査中である。農道は、ほ場整備などの動きを見ないと、歩道化するまでに至らない。



白内恵美子 議員

Q 船岡中学校「朝の読書大賞」受賞を機に、町内全校に司書の配置を

A 国の財政措置を考慮し、検討していく



「朝の読書大賞」を受賞した船岡中学校

10月に、船岡中学校が第8回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞した。柴田町の教育現場における快挙である。町では学校図書館に司書を順次増員する計画だが、受賞を機に全ての学校に配置すべきと考える。

問 「朝の読書大賞」の趣旨と選考基準は。

教育長 趣旨は、朝の読書活動推進で顕著な実績のあった学校を顕彰し、文字・活字文化の振興に資するとしている。大賞

には全国の小・中・高等学校から1校が選ばれ、今年度は中学校の部で船岡中学校が受賞した。

問 どのような活動をし、評価されたのか。

教育長 16年度から毎朝10分間、教職員と生徒が一緒に読書活動を継続している。昨年度から司書派遣により図書館が整備され、利用者数、貸出冊数が飛躍的に伸びたことなどを評価いただいた。

問 現在、司書は3校を兼務しており、司書

が不在の日は閉館していると聞いている。今後は、県内外から視察が殺到する。常勤司書の配置が必要では。

教育長 各学校への司書の巡回を軌道に乗せ、今後、国の地方財政措置などを考慮し検討していく。

問 受賞は常勤司書がいだからであり、全校配置を急ぐべきでは。

町長 人件費は経常経費を圧迫するため、計画的にやらざるを得ない。



広沢 真 議員

Q 医療・介護総合法で介護サービスが後退しないように努力を

A 介護認定などこれまでどおり進めるよう努力していく



みんな元気にはつらつ体操（まごころホーム）

医療・介護総合法が成立した。さまざまな制度変更が盛り込まれているが、最前提となっているのは介護給付費の削減であり、町としても負担を求められることになる。

問 これまでの通所サービス、訪問サービスに加え、新しいサービスが加わるがどう考えるか。

福祉課長 2年後に向けて協議会の設置やコーディネーターの構築などを進めていくが、未知の部分が多い。

問 新事業の前提として、介護給付費の削減があるというのは認識しているか。

福祉課長 高齢者人口のピークを抑える観点も含まれると考える。

問 先行実施自治体では、窓口で基本チェックリストで判断され、介護認定が受けられないことも起こっているか。

福祉課長 柴田町では、前提として申請を受理して、認定を受けてもらうこと

問 介護給付費の伸びに上限がかけられているか。

福祉課長 国の伸びに照らして我が町の伸びは大きくない。今のところ上限には至らないと考える。

問 高齢化のピークを迎えて、上限にかかる伸びがあつた場合もサービスを維持するか。

福祉課長 サービスは維持したいと考えている。

問 ことし開催のイベントでの集客数や収益の結果は。

町長 集客人数は、全てのイベントで前年を上回り、波及効果で各施設の売上増となった。

問 (仮称)さくら連絡橋オープンセレモニーの準備、計画内容は。

町長 実行委員会で、意見やアイデアをいただき、桜まつりとの相乗効果により、思い出に残る開通式となるように準備を進めている。

問 4月のプレオープンに、町民参加による「樅の木音頭」で花を添えてはどうか。

まつくり政策課長 時間の経過につれ変形した音頭の形を統一することから始めたい。

問 来春に向け、船岡城址公園内外の整備をどう進めていくのか。

町長 交通渋滞や安全対策として、国道・県道・会場付近の誘導案内板を工夫して渋滞緩和を図る。また、警備員を増員し、配置を見直すとともに、

臨時の駐車場を増やし、シャトルバス運行で観光客の利便性を高める。園内の案内看板や観光マップの作成、原田甲斐・柴田外記供養塔周辺と船岡平和観音像の整備は、27年度から予算化していく。

問 連絡橋から船岡駅の間も整備すべきでは。

都市建設課長 整備計画を膨らませずに、段階的に行ってきた。東側の具体的な計画はないが、今後、注視していきたい。

Q 来春の桜まつりに向けた整備体制は

A 交通渋滞緩和や安全対策などを見直す



佐々木裕子 議員



復活した樅の木音頭



有賀光子 議員

Q 魅力ある地域づくりについて

A 地域経済の活性化を図っていく



利用者が増えている農村レストラン「縄文の幸」

問 魅力ある地域づくりのポイントは、多様な働き方の就業機会をどのように創出していくにかかっている。認識と対応は。

町長 町では65歳以上の高齢人口が全体の24割を突破し、平成30年には29割に達すると推計される。今後、高齢者が活躍できる場を創設していくことが重要となる。

我が町においては、「結友」などの産直、上川名地区活性化推進組合女

性部が運営する農村レストラン「縄文の幸」や、4月にオープンした槻木のカフェなど、コミュニティビジネスやスマールビジネスの事例が見られるようになってきた。今後、新たな仕事づくりとして、後期基本計画の重点プロジェクトであるフットパスコースを整備し、町内の回遊性を高め、特産品の開発や郷土食などの提供により、雇用の創出や地域経済の活性化を図っていく。

問 活力ある地域づくり、特に女性の活躍については、「子ども・子育て支援新制度」を実践することに加え、出産直後の母と子をサポートする産後ケアと、切れ目ない支援が重要では。

町長 待機児童解消のため、小規模保育事業の設置を進めるとともに、事業充実のため、利用者支援事業や病児保育事業などの事業実施についても、今後、検討する。

問 ナラ枯れが相当数あるのではないかと。ナラ枯れは、ナラ類の葉が赤く枯れ、枯死に至る被害で、カシノナガキクイムシという昆虫が病原菌を運ぶことで、木を枯らす樹木の伝染病である。ほとんどがミズナラで、館山で32本、崎山で48本、町民憩いの森で45本を確認した。どのくらいの区域に広がり、本数もさらに増えるのではないかと。

町長 ナラ枯れは、ナラ類の葉が赤く枯れ、枯死に至る被害で、カシノナガキクイムシという昆虫が病原菌を運ぶことで、木を枯らす樹木の伝染病である。ほとんどがミズナラで、館山で32本、崎山で48本、町民憩いの森で45本を確認した。どのくらいの区域に広がり、本数もさらに増えるのではないかと。

農政課長 町内全域に広がり、本数もものすごく増えると思う。ナラ枯れは、ピークを過ぎると減少する傾向にある。

問 この10年、林業に予算配分してこなかったが、来年度から予算を増やす考えはあるのか。

町長 町としては、林業生産の振興は難しいので、消費面から支え、県の指導を仰ぎ、整備を続けていきたい。また、ナラ枯れ病には予算を増やしたい。

問 県の森林整備加速助金活用で、十分な対策はできるのか。

農政課長 県の里山林再生健全化事業があり、他市町と同様に、この制度を利用したい。

問 ナラ枯れの伐倒費用は、1本いくらくらい必要なのか。

農政課長 単価は、1立方尺当たり2万6千645円である。今回、3カ所の材積から、概算の伐倒費用は320万円程度と試算する。

Q 県職員が館山でナラ枯れを発見したが、今後の対応を問う



我妻弘国 議員

A 伐倒駆除で処理したい



ナラ枯れが進む山林 (大河原振興事務所提供)

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

舟山 彰 議員

- 問** 日本経済新聞に「固定資産税徴収ミス続発」とあったが、柴田町は大丈夫か。
- 答** 件数の膨大さで単純ミスが発生しないとはいきれない。間違いがないように努める。
- 問** 学校給食センター建設に、柴田町も※1 P F I方式を検討すべきではないか。
- 答** 直営方式や P F I方式などがあり、比較検討しながら慎重に進めていく。
- 問** 柴田消防署は人が足りているのか。いざというとき、消防団と連携はとれているのか。
- 答** 消防署員は 25 人。連携を深めながら協力して活動している。

高橋たい子 議員

- 問** 第 11 回しばた新米まつりの価格に対し、苦情・苦言はなかったか。
- 答** 電話で 1 件、そのほか会議などで話題になった。次回に向け実行委員会で検討していく。

吉田和夫 議員

- 問** 太陽の村のトイレ整備を。
- 答** 今後点検し、それぞれの場所のトイレ整備を検討していく。

佐々木 守 議員

- 問** 産業育成の観点から、イベントのあり方や将来像を見直し、計画を進めるべきではないか。
- 答** 特産品づくりや商品化に意欲や熱意のある団体、個人に対し、積極的な支援をしていく。

桜場政行 議員

- 問** 空き家等の政策で、対策と経済活性化を。
- 答** 空き家条例は、来年度に作業を開始する。空き家バンクは、調査研究に努める。

水戸義裕 議員

- 問** 米 1 俵の生産費は 13,490 円、概算金は 8,400 円しかない。将来の町としての農業政策は。
- 答** 国で難しい農業政策は、町としても難しい。生産費の低コスト化を図らなければならない。

白内恵美子 議員

- 問** 柴田町の「未来の図書館」を考えるために、早急にすべきことは何か。
- 答** 図書館への愛着心を育てる環境づくり、図書館建設への機運を高める事業が必要である。
- 問** 柴田町の※2 生物多様性地域戦略策定の時期は。後期基本計画に文言を盛り込むべきでは。
- 答** 宮城県の地域戦略公表後に、町の計画を考える。後期基本計画に文言を盛り込んでいく。

我妻弘国 議員

- 問** (仮称)さくら連絡橋の主要な部分が架かったが、今後の維持管理を問う。
- 答** 主要部分は耐候性鋼材のため、補修間隔は長い。点検は 5 年に一度。これから詰めていく。

※1 P F I プライベート ファイナンス インシアチブ Private Finance Initiativeの略。民間の資金や経営手法・技術力を活用して公共施設などの社会資本を整備すること。官民の役割分担を事前に取り決め、公共施設の建築や維持管理を民間企業に任せ、効率的に良質な公共サービスを提供しようとするもの。

※2 生物多様性 遺伝子・生物種・生態系それぞれのレベルで多様な生物が存在していること。これを地球規模で保全するため、1992年に生物多様性条約が採択された。

議会からの指摘事項(所管事務調査報告書)

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成26年10月30日(木)～10月31日(金)



押分排水機場(岩沼市)

調査内容

- 1 柴田町総合計画後期基本計画策定の進捗状況〔まちづくり政策課〕
- 2 柴田衛生センターにおける、し尿処理状況〔町民環境課〕
- 3 押分水門及び押分排水機場等(行政視察)〔総務課〕

調査結果

- 1 柴田町総合計画後期基本計画策定は若干遅れているが、年度内に策定となるよう事務を進めること。
- 2 柴田衛生センターは老朽化が進んでいる。仙南地域広域行政事務組合の当該施設への考えを注視していくべきである。
- 3 押分水門、押分排水機場、阿武隈大堰あぶくまは、柴田町の防災上、治水・利水の観点から有意義な施設となっている。

文教厚生 常任委員会

平成26年10月8日(水)～10月9日(木)

調査内容

- 1 高齢者自立通所支援事業「春風」の現状〔福祉課〕
- 2 柴田町地域包括支援センターの現状と今後の展望〔福祉課〕
- 3 社会体育施設の管理運営状況〔生涯学習課〕
- 4 総合型地域スポーツクラブ設立準備の進捗状況〔生涯学習課〕

調査結果

- 1 「春風」で使用しているテーブルや椅子を、高齢者にとって安全・快適なものにするよう配慮すること。
- 2 船岡地区の地域包括支援センター整備を早急に進めること。
- 3 総合体育館建設の準備を進めること。また、柴田球場の整備・修繕は計画的に順次行うこと。
- 4 総合型地域スポーツクラブ設立に向けて、町としても適切な支援・指導を行うこと。



高齢者自立通所支援事業「春風」

産業建設 常任委員会

平成26年11月4日(火)～11月5日(水)



(仮称) さくら連絡橋建設工事現場

調査内容

- 1 農産物直売所の状況〔農政課〕
- 2 シルバー人材センターの運営状況〔商工観光課〕
- 3 しばた商工振興ビジョンの評価〔商工観光課〕
- 4 (仮称) さくら連絡橋建設工事の進捗状況〔都市建設課〕

調査結果

- 1 農産物直売所は、特色を生かし運営されている。自主性を保ちながら運営できるよう、アドバイスとサポートをすること。
- 2 シルバー人材センターの建物は、施設内における安全性の確保や就業促進の観点から、独立した施設整備が望ましい。
- 3 しばた商工振興ビジョンを精査すること。今後は、さまざまな環境の変化を的確に捉え、商工業の振興に取り組むこと。
- 4 (仮称) さくら連絡橋建設工事は、安全に配慮し進めること。

？ なった

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、新しくなった子育て支援環境の拠点として「船迫こどもセンター」と「三名生児童館」を特集します。

船迫こどもセンター

施設概要

船迫こどもセンターは、施設の老朽化と耐震力不足により、建て替えられました。

平成24年に基本計画を策定し、25年の11月から工事着工、26年6月に完成し、7月15日に開所式を迎えることができました。

このセンターは、児童の健全育成のための「児童館」と、子育て支援の多彩な役割を担う「子育て支援センター」「ファミリーサポートセンター」の機能を合わせたものです。

24年度に森林林業加速化プランによる木造公共施設等整備事業の活用を検討し、25年度森林林業加速化・林業再生事業補助金の採択を受けて建設しました。

船迫こどもセンター建設概要

事業概要

○建築面積	木造平屋建て	749.14㎡(駐輪場含む)
○事業費	2億9,650万円	
財源	国県補助金	1億4,457万8千円
	町	3,992万2千円
	地域の元気臨時交付金*	1億1,200万円
○完成	平成26年6月	

※地域の元気臨時交付金

国の経済対策の一環として、地方公共団体の資金調達に配慮し、経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るための特別な交付金

床暖房が好評

ここでは、自由に過ごしていただけるような空間が確保されています。一人一人の滞在時間も長くなり、ゆったりと過ごしているお母さんたちが多くなっています。

床暖房のため、0歳児を持つお母さんからも安心して遊ばせることができると好評です。最近では、お父さんの来館も増えています。

鈴木淳子館長は、「子育て支援の拠点として、多くの方に利用していただきたい」と話しています。



利用者の声

本船迫在住 Nさん
近所の方に、こどもセンターのことを教えてもらい、今日で2回目の来館です。ここは、広くておもちゃが多く、孫と楽しい時間を過ごしています。

西船迫在住 志賀さん
新しくなってきたから来館するようになりました。子育ての情報交換もできるので、来るのが楽しみです。

村田町在住 佐藤さん
初めて来館しました。入館した時の雰囲気か

いいですね。

西船迫在住 Yさん
空調が効いているため、過ごしやすく、子どもたちがのびのびと遊んでいます。建物内は明るく開放的で、いい気分転換にもなります。



子どもも大人も居心地満点



「追跡」あれはどう

三名生児童館

施設概要

三名生児童館は、昭和44年に幼児保育を行う施設として建設されました。

45年の年月が経ち、老朽化が著しく、新築することになったもので、平成26年3月から工事が始まり、11月10日に開所式と内覧会が行われました。

県産の木をふんだんに使った館内は、木材の香りが漂い、柔らかな光が差し込む明るい空間となっています。また、建物内はオープン的なつくりで、常に子どもたちの動きが見えるのが特徴的です。

外観からは、とんがり屋根の建物が印象的です。

人気のあるボルダリング

三名生児童館は、児童館と放課後児童クラブの2つの機能があります。

日中は自由来館できる児童館となり、放課後には

放課後児童クラブの子どもたちが集う場として、毎日多くの子どもたちが通っています。

プレイルームには、*ボルダリングが備えられており、子どもたちに変人気があります。

平間悦子館長は、「子どもやお母さんが笑って育児ができるような環境づくりに努めています」と話しています。

*ボルダリング 人工の岩や石のついた壁を登るスポーツ

放課後児童クラブの子どもたちが集う場として、毎日多くの子どもたちが通っています。

三名生児童館建設概要

事業内容

○建築面積	木造平屋建て(一部2階建て)439.30㎡
○事業費	1億5,750万円
財源	国県補助金 5,564万円 町 1,906万円 地方債* 8,280万円
○完成	平成26年11月
	一部林業振興に関する補助金を受け建設しています
※地方債	地方公共団体が1会計年度を越えて行う借入れ。原則、投資的経費(建設事業関係の経費)の一定部分に充てられます。

利用者の声

児童から

3年生 森羽衣美さん
児童クラブ室では、勉強がしやすくなりました。

2年生 高橋寧々さん
児童クラブ室の部屋が分かれているので、静かです。遊ぶものが増えたのがうれしいです。

3年生 佐藤晟汰さん
プレイルームは広いので、おにごっこやハンターごっこができるから、うれしいです。

1年生 菅原綾音さん
ボルダリングが楽しいです。

保護者から
新生町在住 菊地奈津美さん
静かな環境と館内は大変明るいので、何度も来館しています。

安心、安全に子どもを遊ばせることができるし、先生たちが、常に子どもたちに目を配っていてくれるため、安心して親同士の交流が図れるのでうれしいです。

明るく笑顔の絶えない
子どもの居場所



インタビューにご協力いただきました皆様、ありがとうございました

あなたの一言



おかべ ようこ
岡部 陽子さん
(槻木駅西 在住)

●柴田町に住んで感じたことは

千葉県から15年前に引っ越してきました。最初に感じたのは、空気がきれいなこと、星がよく見えること、地域の方々の温かさです。住みやすい町だと思います。

●柴田町で好きなところは

船岡の桜並木は、本当に素晴らしいですね！子どもが小さかった頃は、太陽の村にもよく行きました。大自然の中で子どもと遊ぶのは最高です。

●町に何を望みますか

柴田町には、たくさんの方々のスポーツ少年団などがあり、スポーツ活動がとても活発なように思います。そういった子どもたちのあらゆる可能性を引き出す場として、もっと

と充実したスポーツ施設があるといいですね。

●議会だよりを読んでいますか

町のことは関心がありますので、時間をみつけては読むようにしています。

●議会、議員に望むことは

議員さんには、町の方々の声がたくさん届くと思います。そういった声を大切にしてください、一部の地域に限ることなく柴田町全体をみて「今、やらなければいけないこと」を確認していただければと思います。

■議会から一言

議員は、町全体の発展を念頭に行動します。ご意見ありがとうございます。

未来へ向けて

議会広報クリニックの評価は…

11月7日に開催された議会広報研修会で「しばた議会だより第146号」

のクリニックを受けました。「同じページで異なる情報の場合は、読みやすいように区分けする」「二般的でない言葉には脚注を入れる」などのアドバイスがあり、また、全体としては「編集レベルが高い」と評価をいただきました。

私たちが広報常任委員会として、これらの注意点を改善し、今後も気を引き締めて編集作業に努めてまいります。



クリニックの評価シート

このしばた議会だより147号は、約15,400部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。

◆編集後記◆

1月5日に編集を開始した第147号をお届けしました。

とは、分かりやすく、よみやすい紙面に役立てたいという願いからです。今後も研鑽を積み重ねて編集に当たっていきま

す。昭和53年8月31日の初発行ですので、38年の歴史を刻んできたことになりました。発行されたものを改めて開いて見ると、編集での工夫の跡を読み取ることが出来ます。

昨年、議会だよりをより良いものとするため、第三者の目で客観的に評価をもらうクリニックを受けました。このこ

- | | |
|-----|-------|
| 議長 | 安部 俊三 |
| 副議長 | 平間奈緒美 |
| 委員 | 平間 幸弘 |
| 委員 | 榎場 政行 |
| 委員 | 吉田 和夫 |
| 委員 | 秋本 好則 |
| 委員 | 斎藤 義勝 |

ぜひ、議会の傍聴を!!

3月会議は
3月9日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
3月9日(月)・10日(火)・11日(水)の予定
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況を掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください